

承德派遣を終えて

大高 嗣冬（高校2年）

今回の承德派遣プログラムに参加し学べた事は多くあります。特に強く感じたことはやはり日本においては絶対に体感する事のできない中国のリアルな一面を見る事ができたということです。文化的な学べた事も多くありましたがまず北京空港に着き真っ先に驚いたのはとても乾燥しているという点でした。正直中国を訪れる前乾燥しているとは聞いてはいましたが肌で感じる事ができました。中国の人々の生活を少し覗くと日本とはかけ離れていて驚くものもあったり、似ていたりしたものもありました。まず日本とはかけ離れた点について話します。日本とは異なる点はたくさんありました。例えば現地の高校生の多くは家から学校まで車で1時間から2時間の距離にあり学生の多くが寮生活をしているということでした。学校では多くの生徒が朝から夜の10時くらいまで勉強をしているように学生たちの学習意欲はとても高く見えました。また学校では国語数学などの勉強だけではなくゴルフやバーでのマナーなどの教養のようなものも授業として教えているようでした。

次は街について話します。日本でも見られるような主なお店はセブンイレブン、ケンタッキーフライドチキン、SUBWAY、マクドナルドなどがありました。また交通機関についてはタクシー、バス、レンタサイクルが多くありました。日本とは違いタクシーの料金が非常に安かった事、レンタサイクルが非常に多くスマホで料金を支払うものがあるなど驚く点はたくさんありました。中国での食事については日本の中華とは味がなかなか違いすごく味の特徴が強くなっていると感じました。正直日本で食べる中華の方がおいしい物がほとんどでしたが、本場の中華を食べるという貴重な経験をできました。

今回の承德派遣行事を通して外に出て内を知るような中国と日本を比較しお互い良い点、悪い点を理解することができました。今回の貴重な経験を自身の人生にも活かし、今後の柏市と承德との交流の発展をお祈りし微力ではありますがお手伝いもできたら嬉しく思います。

